

コロナ禍における 人材育成への取り組み



世界共通の結核予防運動のシンボルマークである
「複十字」のイメージカラー「赤色」の結核予防週間ライトアップ
9月24日(金曜日)から30日(木曜日)まで

東京都福祉保健局感染症対策部
防疫・情報管理課 村井やす子

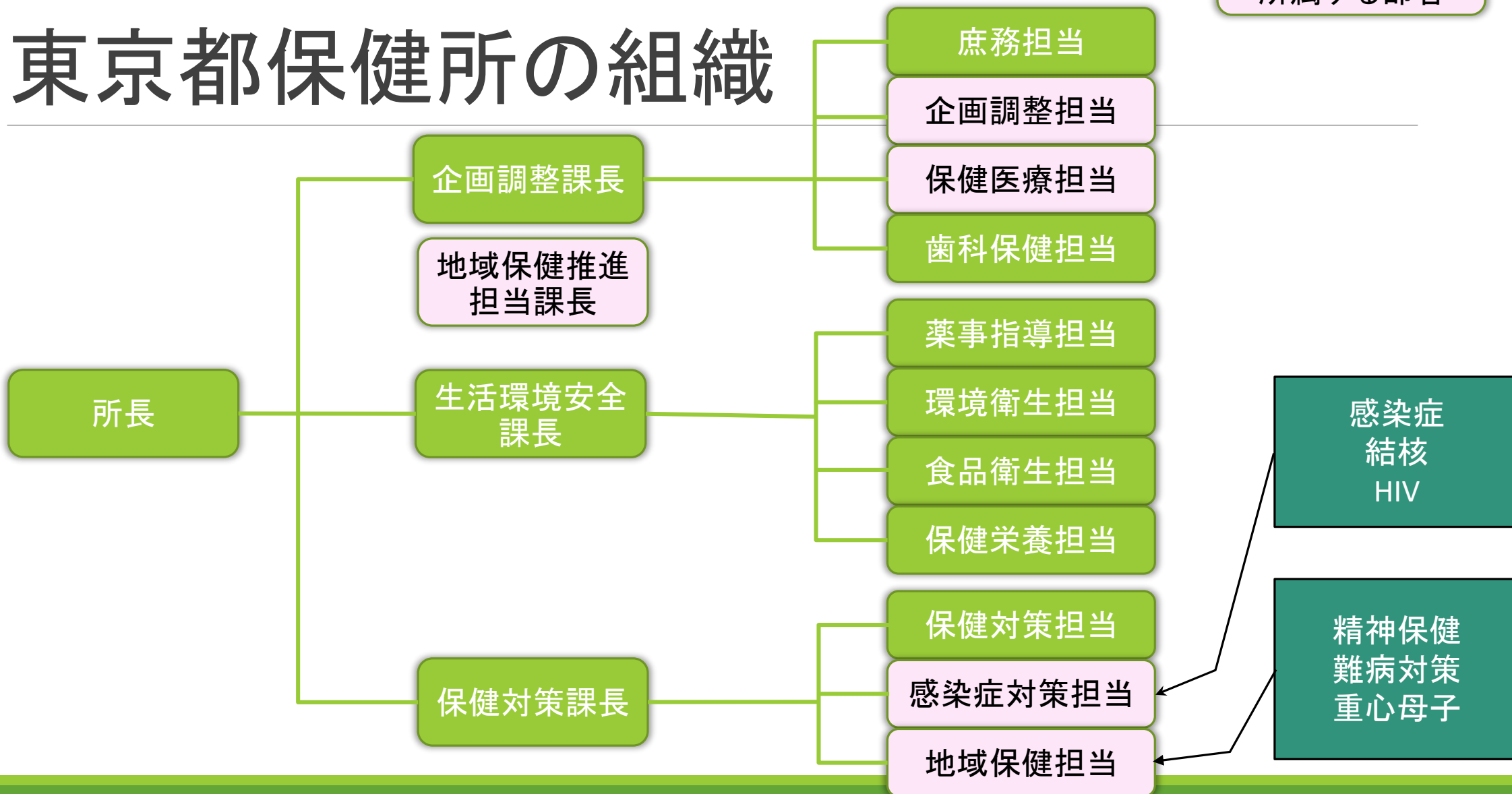
東京都南多摩保健所

管内人口
426,709人
(令和2年1月1日)



東京都保健所の組織

保健師が
所属する部署



業務量の比較

事業名称が精神、難病、重心母子の個別支援件数

- 講演会や受託検診などの事業を縮小
- 個別援助活動も訪問や面接などを極力減らした

	2019年度	2020年度	<small>2020年度 2019年度</small> 割合
訪問	888 件	632 件	71.2 %
面接	962 件	640 件	66.5 %
電話	11,109 件	7,983 件	71.9 %
会議	459 件	389 件	84.7%

患者家族等の他に個別援助に係る関係機関との電話連絡も含む

相談件数は減っているが...

関係機関からの相談や複雑困難事例の対応が多い

業務ひっ迫

南多摩保健所地域保健担当保健師が受けた精神、難病、重心母子の相談件数分析結果

コロナ以外の1件あたりの対応所要時間(分)

	訪問	面接	電話相談	会議
2019年度	44分	22分	7分	41分
2020年度	60分	32分	8分	37分
増加率	136.4%	137.0%	114.3%	90.2%

相談内容も深刻なもの残り、1件あたりの対応時間が増えた
結果的に保健師の負担は、コロナ以外の相談でも増えている

業務ひっ迫

南多摩保健所管内に在住し、新型コロナウイルス陽性と診断を受けた患者で、令和3年3月21日までに、療養が終了した者1,506名（高齢者入所施設や医療機関、学生寮等の施設入所者等は除く）

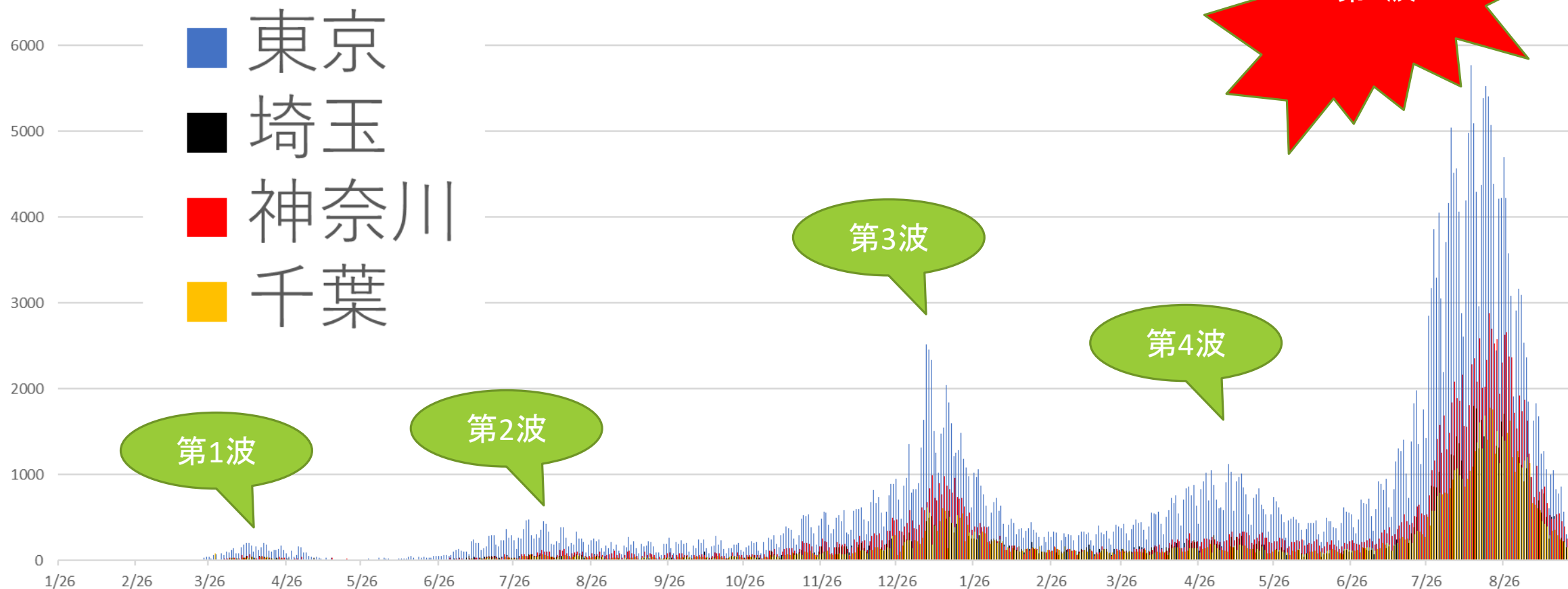
患者ひとりに対して対応した電話の回数

年齢	本人/家族	関係機関	接触者	合計
10歳未満	3.7 回	2.9 回	4.5 回	11.2 回
10歳代	0.9 回	2.6 回	5.7 回	9.2 回
20歳代	6.0 回	3.1 回	2.2 回	11.2 回
30歳代	6.0 回	3.6 回	2.1 回	11.7 回
40歳代	5.4 回	3.6 回	2.4 回	11.4 回
50歳代	6.1 回	3.8 回	2.0 回	11.9 回
60歳代	5.4 回	3.8 回	2.0 回	11.3 回
70歳代	4.9 回	5.5 回	2.6 回	13.0 回
80歳代	3.0 回	6.2 回	5.8 回	15.0 回
90歳以上	1.4 回	4.6 回	6.6 回	12.6 回
平均	5.3 回	3.7 回	2.6 回	11.6 回

電話も足りないが回線も増やせず、
携帯電話を多数追加。
2021年1月（第3波）の電話代は、
前年同月の6.8倍

第5波の患者は第3波の倍以上
業務量がどのくらい増えたでしょうか
「人が足りない！」時に数字で説明できますか？

県別新規陽性者数の推移



やる気のある

人は増えても

非常勤看護職

教えてください

指示してください

新人

他部署の保健師

何をすれば？

コロナ以降に
感染症部門に配属された
保健師

マニュアルは
どこにある？

感染症に
平常時から対応している
(経験のある)保健師

多職種の応援職員

どうしましょうか？

応援部隊の人材育成



コロナに対応する 常勤職員の人材育成

リスクの高いグループへ研修会や勉強会を企画し、知識を伝える

感染症をきっかけに介入し、福祉サービスにつなぐ

傾向を把握し、指導や分析のための効率的なツールを開発する

感染症に
平常時から対応している
(経験のある)保健師

病気だけでなく、本人や家族の状況や環境も把握して対応を考える

流行状況を見て、早めに感染拡大予防の対策を周知する

他部署の事業とコラボして意識がない層へアプローチする

しかし・・・クレームや苦情、体調不良の方の切迫した相談が続く日々・・・



●療養期間の健康観察のみの対応

コロナのために失業。お腹の子どもは4ヶ月。療養期間の間だけは毎日電話がかかってきたけど、熱とか咳とかしか聞いてくれないし・・・無事に子どもが産めるか不安。誰かに話を聞いてもらいたい。

●マニュアル対応

同居の人しか濃厚接触者じゃないって言われたんですよ。普段は別に住んでいるんですが、たまたま発症前に実家で何泊かしてたんですよ。それで、私はどうすればいいのでしょうか。



●疲れて必要な情報提供ができない

今、入院できないのは当たり前って言われて電話を切られました。状況は分かっているんですが、苦しくて不安だったし。あの時に自宅での過ごし方を一言でもアドバイスしてもらえたら・・・



「できなかったこと」を「やらなくていいこと」にしない

理想的にはここまでやればベスト

通常ならこれくらいはできている

すごく大変
これだけやればいいって
言われた

第5波真っ最中

第5波では、
患者の大切な命を守る
最優先課題の比率が高く
保健師活動の中で
あきらめざるをえない部分が
あった……

左の状況を判断した意味が
わからなければ、平常時に
戻っても、やらなくてもいい
ような気持ちになる

理想的にはここまでやればベスト

通常ならこれくらいはできている

普段でも
ここだけで
いいんじゃない

コロナ終息後

人材育成の機会

新任期	定期的なカンファレンス、レポートによる振り返り チューターの指導とアドバイス 新任期育成トレーナーによる指導 体験とリフレクション
チューター	先輩保健師のサポート 新人指導を通しての業務の見直しや自身の振り返り 指導をするにあたっての所内調整 他保健所との情報交換
地区リーダー	課長代理のサポート 区市町村担当部署との情報交換と課題共有 コロナの視点を入れた地区管理計画 他機関の課題把握とカンファレンス
業務リーダー	課長代理のサポート 他保健所業務担当との情報交換 本庁担当部署との連絡 コロナの視点を入れた業務管理 関係機関の課題把握と連絡調整
課長代理 (係長級)	統括保健師のサポート 課長代理会メンバーとの情報交換 コロナの視点を入れた組織運営 他部署や他機関との調整
地域保健推進担当課長	統括保健師として管理職間との情報交換・共有、方針決定への参画 コロナ禍での緊急の組織横断的な保健師体制づくり 人材育成への関与

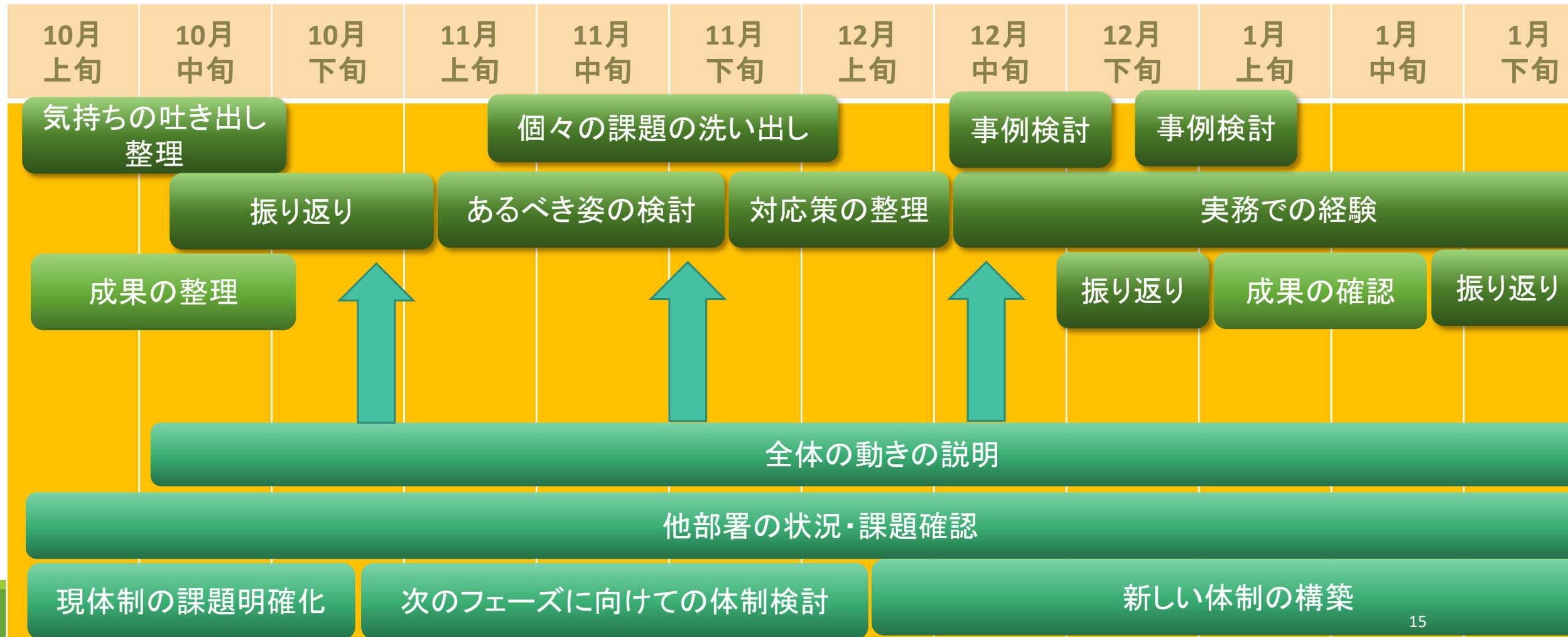
人材育成を意識した 非常時から平常時へのロードマップ

ロードマップとは、

- 災害時に起こり得る様々な課題の予測と、それに対する支援策の優先順位を付ける中長期的な活動計画である。
- 災害時支援活動に留まらず、通常業務の再開も見越して計画することにより、支援活動の進捗管理ができる他、業務の全体像を把握し、職員や支援チームの配置にも活用できる。
- 災害発生から今後起こりうる課題を想定し、具体的な行動計画を見える化することで、支援者間における支援の方向性を共有することができ、円滑に活動を進めることにつながる。

「災害時の保健活動推進マニュアル」(令和2年3月)より

人材育成を意識した 非常時から平常時へのロードマップ(例)



非常時の人材育成

発想を変えれば、全てが育成の機会

- やらなくてはいけないことだけで手いっぱい
- ひとりで動けなければ、現場調査は無理
- 人材育成や指導なんて考える暇がない
- 新人の面倒をみる時間はない
- オリエンテーションの資料だって作れない
- 新しい人が次から次へときても何もできない

- 新人も応援もできることは何かやりたいと思っている
- 現場を体験することは学ぶことがたくさん
- 今しか経験できないことをやらせないなんて損
- 先輩の取り組み姿勢を見せるチャンス
- 猫の手も借りたいのだから、頼んでしまう
- 最初に人を育てれば、人が人を育ててくれる



若手の声



不安な人に向き合うのは怖いしストレス
いつまでこんな日が続くの！！なんとかしてください！



職員を支える私も不安でいっぱい
余裕がなくて泣きたい時もある
いつまでこの坂を登ればいいの？
腰も痛いし、眼もかすむ・・・

保健師は(たぶん) 喋らないと生きていけない



本音で
相談できる人

他部署の情報
や意見を教えて
くれる人



愚痴を聞いて
くれる人



カタルシス効果

話すことで、
心や気持ち軽くなる

ボディ効果

話すことで、
孤独感などから解放され
暖かさを感じる

アウェアネス効果

話すことで、
自分でも気づかなかった
課題が整理される



ありがとうございました

新宿駅から都庁までの地下通路
(現在は撤去されています)

話題になったピクトグラム



競技をするミライトワ

「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれた名前